取扱説明書（保証書付）

定格出力30W・ワイヤレスチューナー付・ホイッスル付

スーパーメガホン

TMW-314

このたびは、スーパーメガホンをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

安全上のご注意 （必ずお守りください）

●ご使用の前に必ず、この取扱説明書の「安全上のご注意」と取扱方法に関する説明をよくお読みの上、正しくお使いください。

●お読みになったあとは、必ず保存してください。

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な注意内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

△記号は注意(危険・警告)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。

⚠警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

異常が起きたときは、ただちに使用をやめる

煙が出ている、においや音がする、水や異物が入った、落として破損したなど、火災の原因となります。ただちに使用をやめ、販売店などにご連絡ください。

耳の近くでは絶対に使用しない

大きな音で聴力障害などの原因となることがあります。テスト時は、メガホンを床に伏せておこなってください。

分解／改造はしない

火災の原因となります。修理や点検は、販売店などにご依頼ください。

異物を入れない

水や金属が内部に入ると、火災の原因となります。ただちに電池を取り出し、販売店などにご連絡ください。

屋外で使用のとき、雷が鳴り出したら、体から離す

落雷の原因となります。ただちに使用をやめ、体からメガホンを遠ざけてください。

乾電池は、充電しない

電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となります。

⚠注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

不安定な場所に置かない
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

異常に温度が高くなる場所に放置しない
窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。各部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

マイクスイッチを入れる前には音量を最小にする
突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。

電池は極性(＋／－)を確かめ正しく入れる
電池を機器内に挿入する場合、極性表示に注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

指定以外の電池は使用しない
また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れない
電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

一ヵ月以上使用しないときは、電池を取り出しておく
電池から液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ホルダーについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また万一、もれた液が身体についたときは水でよく洗い流してください。

1年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨時の前におこなうと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。

ご注意

●製品に強い衝撃や振動を加えないでください。音切れや故障の原因となることがあります。

非常用として使用する場合

●非常用として使用する場合、乾電池が抜いてあったり、消耗していることがないように、日常点検をおこなってください。

お手入れについて

●揮発性(ベンジン、シンナーなど)のものをかけたり、使用したりしないでください。ケース及び肩掛ベルトが変形したり、変色したりすることがあります。

●日常のお手入れ
乾いた布で拭いてください。化学ぞうきんを使用される場合は、その注意書に従ってください。

●汚れがひどいとき
台所用中性洗剤をうすめ、柔らかい布にしみこませてよくしぼり、軽く拭いてください。そのあと、乾拭きしてください。

操作部・接続端子部の名称と説明

電源表示灯
マイクスイッチ、ワイヤレスマイク／外部入力スイッチを入れますと点灯します。信号音により点滅する場合があります。点灯しない場合は、電池が消耗していますので、新品の電池と交換してください。

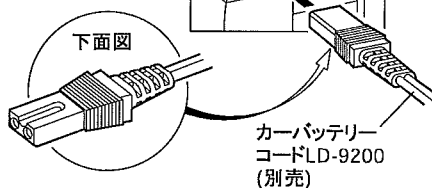
ワイヤレスマイク/外部入力音量調節つまみ
(電源スイッチ兼用)
ワイヤレスマイクや外部入力に接続された機器を使用される場合は、このつまみを右にまわし、電源スイッチを入れ音量を調節してください。

ホイッスルボタン
ホイッスル音を鳴らすときに押してください。

外部入力ジャック
(−20dBV 10kΩ)
テーププレーヤーなどを接続してください。付属のマイクロホンと同時に使用し、ミキシングが放送できます。接続機器によっては使用できない場合がありますので、接続機器の出力端子を必ず確認して接続してください。
注)外部入力ジャックの音量調節器はワイヤレスマイクと兼用です。ワイヤレスマイクをご使用の場合は、接続機器側の音量調節器で音量を調節してください。

マイクロホンコンセント
付属のマイクロホンのプラグをを接続してください。

外部電源コンセント
カーバッテリー(DC12V、⊖アース)から電源をとる場合は、別売のカーバッテリーコードLD-9200で車内のシガレットライターソケットに接続してください。

ご注意:
●24V車には接続しないでください。故障の原因になります。
●カーバッテリーコードLD-9200(別売)を本体コンセントに差し込む場合は、必ずコンセントとプラグの凹凸方向をそろえてください。(右図参照)

各部の名称と説明

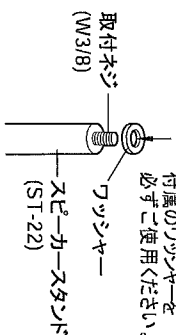
肩掛ベルト

本体マイクロホンを使用する場合はメガホン本体を肩掛ベルトで肩に掛けてご使用ください。

スタンド取付穴

(取付ねじ寸法　W3／8)

別売のスピーカースタンド(ST-22)に取り付けて使用することができます。特にワイヤレスマイク使用時や、長時間使用する場合にスピーカースタンドのご使用をおすすめします。

取付方法

⚠警告

雨天での使用、水滴のかかるような場所で使用しない。火災、誤動作の原因になります。

耳の近くでは絶対に使用しない。ホイッスル音やハウリング音で聴力障害などの原因になることがあります。

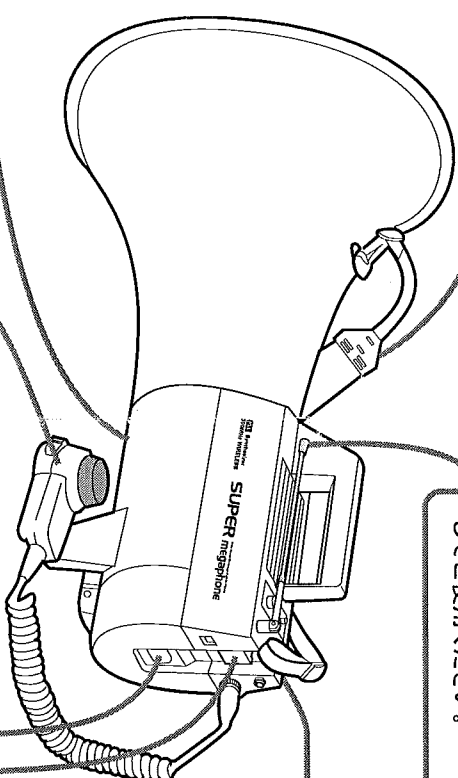
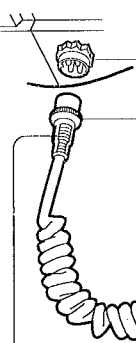
使用上のご注意

マイクスイッチをロックして使用した場合、ロックの解除を忘れますと電池の消耗を早めます。必ずロックを解除してください。

ワイヤレスアンテナ

ワイヤレスマイクを使用されるときは必ず垂直に起してご使用ください。

マイクロホン

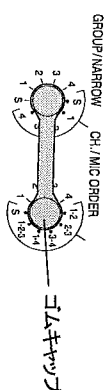
②入/ロック
①入
音量増
音量減

送話口
送話口と口は1～2cm程度に近づけて話してください。離しすぎると音量不足になることがあります。

マイクスイッチ
①押すと電源が入り拡声ができます。離せば切れます。
②押して上にスライドさせると、ロック状態になり、指を離しても電源は入り続けます。連続放送が楽にできます。

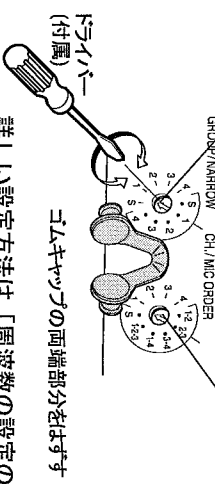
音量調節器
ハウリング(キーンという音)の起きない範囲で適当な音量に調節してください。

マイクロホンコンセント
締付ナット

マイクロホン接続プラグ
マイクロホンのプラグを本体のマイク接続コンセントに差込み、締付ナットで確実にしめつけてください。

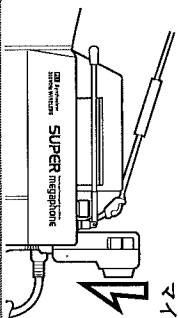
グループ／チャンネル設定スイッチ

GROUP/NARROW　CH./MIC ORDER　ゴムキャップ

下図のようにゴムキャップをはずし、付属の小型ドライバーで使用するワイヤレスマイクと同じグループ／チャンネル番号（受信周波数）に設定してください。

グループ設定スイッチ　チャンネル設定スイッチ
GROUP/NARROW　CH./MIC ORDER
ドライバー
(付属)
ゴムキャップの両端部分をはずす

詳しい設定方法は「周波数の設定のしかた」をご覧ください。

注)ゴムキャップの中央部分ははずさないでください。破損したり、もとどおりに付けられなくなったりします。また、設定が終わりましたら、必ずゴムキャップをもとどおりに取り付けてください。

マイクハンガー

マイクロホン後面の溝をマイクハンガーに差込む。

電池ふた開閉ボタン

このボタンを押しますと電池ふたが開きます。電池ふたを開けると内部に電池パイプが入っています。P7の「電池の入れ方」の説明に従って電池を入れてください。

周波数の設定のしかた

お願い

- 周波数を設定するときは、必ず電源を「切」にしてください。
- 設定が終わりましたら、必ずゴムキャップをもとどおりに取り付けてください。

◆周波数の設定

- 受信チャンネルの設定はグループ設定スイッチとチャンネル設定スイッチでおこないます。
- 右記の受信周波数表と設定例を参考にして、使用するワイヤレスマイクと同じグループ／チャンネル番号(受信周波数)に設定してください。

◆グループについて

- 同一場所で、複数のマイクを同時に使用する場合は1つのグループに統一します。グループ1、2、3は、最大4波まで、グループ4は1波使用できます。

◆グループ設定スイッチを「NARROW(ナロウ)」側でグループ番号を設定する場合。

- 本機使用中に、近隣で使用するワイヤレスマイクが混信するとき、または混信の恐れがあるときに設定してください。受信感度を抑え、混信を防ぐことができます。

◆チャンネル設定スイッチを「MIC ORDER(マイクオーダー)」側で設定する場合。

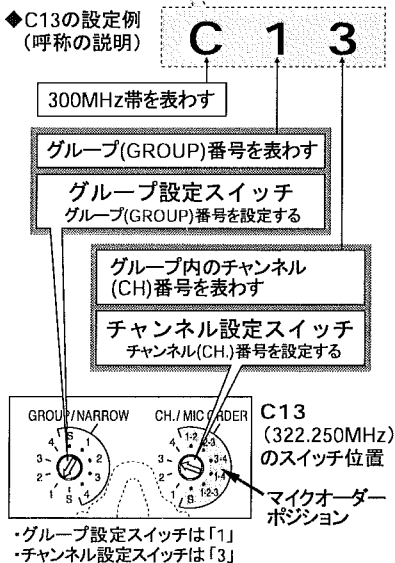
- 本機1台につき、グループ内の複数(2〜4)チャンネルのワイヤレスマイクを使用するときに設定してください。
- 最大4チャンネルの受信が可能ですが、最初に使用（電源スイッチ「ON」）したワイヤレスマイクのチャンネルを優先し、受信します。
- 受信中マイクの使用が終わり（電源スイッチ「OFF」）次第、設定されたすべてのチャンネルのマイクが受信可能になります。
- 受信可能なチャンネルの組み合わせは右記のマイクオーダーのチャンネル組合せ表をご覧ください。またグループの設定は「1／2／3」のいずれかに設定してください。「4／S」には設定しないでください。

◆300MHz帯受信周波数表

周波数(MHz)	グループ／チャンネル番号			
	グループ1	グループ2	グループ3	グループ4
322.025			C31	
322.050	C11			
322.075		C21		
322.100	C12			
322.125		C22		
322.150			C32	
322.250	C13			
322.275		C23		
322.300				C41
322.325			C33	
322.350	C14			
322.375		C24		
322.400			C34	

◆C13の設定例
（呼称の説明）

C 1 3

・グループ設定スイッチは「1」
・チャンネル設定スイッチは「3」

◆マイクオーダーのチャンネル組合せ表

	チャンネル＼グループ	1	2	3
マイクオーダーポジション	1-2	C11 C12	C21 C22	C31 C32
	2-3	C12 C13	C22 C23	C32 C33
	3-4	C13 C14	C23 C24	C33 C34
	1-4	C11 C14	C21 C24	C31 C34
	1-2-3	C11 C12 C13	C21 C22 C23	C31 C32 C33
	S	C11 C12 C13 C14	C21 C22 C23 C24	C31 C32 C33 C34

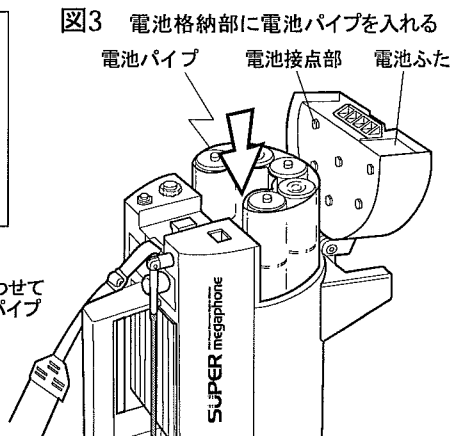
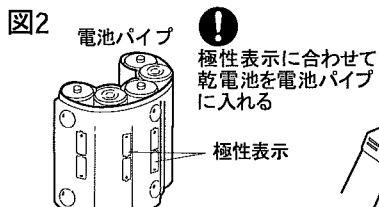
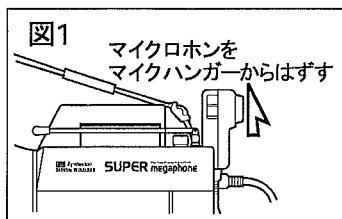
電池の入れ方

・乾電池(R20P)を交換、または入れるときは次の説明に従っておこなってください。

①マイクロホンをマイクハンガーからはずし、電池ふた開閉ボタンを押してふたを開けて電池パイプを取出してください。（図１参照）

②R20P(単一形乾電池)10本をパイプの極性表示に合わせて入れてください。(図2参照)

③電池格納部に電池パイプを入れ電池ふたを閉じてください。（図3参照）

ご注意・・電池格納部や電池ふたの電池接点部は常に清潔にしてください。汚れたり、さびたりしますと動作しない場合があります。

⚠警告

◎電池の挿入は、電池パイプに表示の極性に従い正しく入れる
・誤挿入による液漏れや破裂でけがをする場合があります。
・特にアルカリ乾電池をご使用の場合は液漏れにより、化学やけどの原因となることがあります。

定　格

項目	内容
出　　　力	定格 30W　最大 45W
通達距離	音声時：約800m　ホイッスル時：約800m（JEITA）
使用乾電池(電源)	R20P（単一形乾電池）10個（DC 15V）
外部電源	DC 10～16V（DC12Vバッテリー）
電池持続時間	音声時：約8時間　ホイッスル時：約1時間（JEITA）
総合周波数特性	500Hz～5kHz（偏差26dB以内）
受信方式	PLL制御スーパーヘテロダイン受信
受信周波数	322.025～322.150MHz、322.250～322.400MHz（25kHz間隔　13波）
受信感度	20dB μV
外部入力ジャック	−20dBV　10kΩ　不平衡　音量調節器付
外　　　装	ホーンマウス：アルミニウム　マンセル10Y9／1　近似色 ホワイト 本体ケース：ASA樹脂　マンセル10Y9／1　近似色 ホワイト
外形寸法	ホーン口径：φ 350mm　全長：537mm
質　　　量	約 3.5 kg (電池別)
付　属　品	取扱説明書（保証書付）1、2極大形単頭プラグ 1、チャンネル設定用ドライバー 1